

○司書専門試験問題例

第1問 次のA～Jの書名から、その分類を日本十進分類法（NDC）新訂10版に基づき類・綱の2桁の数字であらわしなさい。

※ 例 「日本の歴史」

2	1
---	---

- A 「李白と杜甫の事典」
- B 「A I プログラマになれる本」
- C 「もっと咲かせるバラづくり」
- D 「はじめての特許出願ガイド」
- E 「最強のTOEICテスト学習法」
- F 「オリンピック全大会」
- G 「草の辞典」
- H 「日本と世界のLGBTの現状と課題」
- I 「ラテンアメリカ五〇〇年」
- J 「ナザレのイエスによる福音書」

第2問 次の文章中の(A)～(F)にあてはまる語句を、語句群の①～⑫の中からそれぞれ選び、番号を記入して答えなさい。なお、()に同じアルファベットが記載されている場合は、同じ語句が該当する。

- (1) (A) では、公共図書館が教育、文化、情報の活力であり、質の高い、地域の要求や状況に対応できるものであることが基本的要件であると記している。また、情報、識字、教育および文化に関連する公共図書館の基本的使命を明示するとともに、その運営と管理など、公共図書館の諸原則をうたっている。
- (2) (B) は、自ら薦める本について参加者に語るゲームで図書館や学校で広く行われる。各自1冊持ち寄り、一人5分の持ち時間で、その本の内容やお薦めポイントなどについて語った後、参加者との質疑応答を2分～3分行う。全員の発表のあと、発表者を含む参加者全員で、一番読みたくなった本を多数決で決める。
- (3) (C) は、具体的には、著作物に関する、公表権と氏名表示権、同一性保持権からなる権利である。公表権は公表されていない著作物を公表するか否かを決定する権利であり、氏名表示権は著作者名をどのように著作物に表示するか決定する権利、同一性保持権は著作物の内容等を許可なく変更されない権利である。
- (4) (D) は、図書館活動に対してインプットした資源だけでなく、アウトプットしたサービスの量、成果や効率といったデータを用いて、図書館サービスの向上や図書館経営に役立てる指標として用いられる。

- (5) (E) は、貸出手続きしていない資料を持ち出そうとした場合にそのことを知らせる仕組み。図書館資料に磁気テープや I C タグを貼り付け、出入口に専用の装置を設置しておくもので、貸出手続き時に磁気を消去し、返却時に磁気を付与する手続きをする。手続きせずに資料を持ち出されないようにするのに役立つ。
- (6) (F) は、主に学術関係などの専門分野において、重要度が高いとされる雑誌のことを言う。(F) を判定する方法はいくつかあるが、「ブラッドフォードの法則」から導く方法もその一つである。

【語句群】

- | |
|---|
| ①ビブリオバトル ②著作権 ③STEM雑誌 ④図書館パフォーマンス指標
⑤ブックチェッカー ⑥コアジャーナル ⑦ブックディテクションシステム
⑧ブックトーク ⑨図書館サービス評価指標 ⑩ユネスコ公共図書館宣言
⑪公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準 ⑫著作者人格権 |
|---|

第3問 次の(1)～(5)の語句について、それぞれ簡潔に説明しなさい。

- (1) パブリックドメイン
- (2) 貸出密度
- (3) レファレンス協同データベース
- (4) HTML
- (5) 子ども読書の日

第4問 日本の公共図書館における多文化サービスについて、以下の問いに答えなさい。

- (1) 提供する理由を5つ以上述べなさい。
- (2) 課題について4つ以上述べなさい。

第5問 郷土資料などで調べた地域の文化財などの情報を、インターネット上の百科事典「Wikipedia」に記事として掲載するイベント「Wikipedia Town」を公共図書館でも開催することがある。このイベントにかかわって、以下の問いに答えなさい。

- (1) 図書館側からみて、図書館で開催するメリットを2つ以上述べなさい。
- (2) 図書館で開催するしないにかかわらず、参加者がこのイベントによって得られるメリットを3つ以上述べなさい。